

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	ご利用者様本位の考えを基に全職員で生活支援のためのプログラムを検討し、日々の実践に繋げていく。	個々の趣味、ホームでの役割、グループレク、機能訓練などその状況に応じた活動の提案や心身機能に応じた活動メニュー等を全職員で考え実践できている。	1、入居者主体の活動時間帯の設定 2、その日の活動支援のための担当職員の明確化 3、手厚い職員配置時間の検討 4、活動メニューの手順書づくりと実施	24 ヶ月
2	36	ご利用者様へ尊厳をもった関わりとコミュニケーション力をアップしていく。	尊厳について理解を深め、日々の関わりの中で常に意識しながら声掛けやその対応ができる。また、第三者から見ても尊厳をもった対応が伝わるようになる。	1、尊厳をもった関わりについての研修実施、継続 2、スピーチロック排除の取り組みを行っていく	24 ヶ月
3	40	おいしい食事、楽しい食事時間、雰囲気作りを考えていく。	出来る限り入居者の嗜好に合った食事の提供に心掛け喜んでいただけるようにする。また、個々の希望する座席の配置やフロアの雰囲気を更に良くなる。	1、入居者の嗜好調査を行い給食委員会を通じて委託業者へ要望等出していく。 2、座席は入居者自身の意見を聞き、支障が無く対応できるように調整していく。 3、雰囲気作りのBGMの検討をしていく。	24 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月